

令和6年度 学校経営方針

学校教育目標 豊かな心とたくましい心身をもつ児童の育成 ◎思いやりのある子ども ○健康で明るい子ども ○よく考え工夫する子ども

◇ キャッチフレーズ あられるであい ゆたかな心の 早宮小学校

- ◇ 目指す学校像 ◇
- 1 学ぶ楽しさや達成感を味わうことができる学校 → 確かな学力の向上と定着、主体的・対話的な学びに向けた授業改善、個に応じた指導の工夫
 - 2 健やかな心と体を育てる学校 → 基本的な生活習慣の確立 安全・安心な環境づくり、いじめや不登校のない学校 体験活動の充実
 - 3 地域に開き、保護者・地域に信頼される学校 → 保護者・地域との連携 適切な情報の発信（Sigfy の活用）

確かな学力の定着と向上

【計画に基づいた指導】

- 1 年間指導計画に基づいた「週ごとの指導計画」の作成、授業時数の確保
- 2 感染症のまん延・被災時等に柔軟に対応できる指導計画の作成と実施

【基礎的・基本的な学習内容の定着】

- 1 主体的・対話的で深い学びの実現 ① 知識・技能の定着 ② 思考力・表現力の育成 ③ 学びに向かう力・人間性等
→ 授業改善、個に応じた指導の工夫や、めあて・見通しの明示、学習の補充。
- 2 「書くこと」の日常化に向けた、書く時間の取組や掲示物の工夫。「読むこと」を通し、自分の思いを豊かに形成する児童の育成。
- 3 ICT教育の推進 → デジタル教科書の活用、タブレット端末を用いた協働的な学習の推進、情報モラル教育の充実等。
- 4 朝読書・読書の旅、平和台図書館等との連携、読み聞かせ・ブックトーク等、読書活動の充実を図る。

【学習習慣の確立】 規律ある学習習慣の確立

- 1 挨拶と返事・話の聞き方と話し方・用具の準備・家庭学習の習慣化
- 2 「早宮の子のやくそく」(学習編)の徹底・家庭との連携

【研究・研修の充実】

- 1 校内研究の充実 → 国語科「読むこと」を通して、文章表現過程や効果的な共有を研究し、自分の思いを豊かに形成する児童の育成を目指し、授業改善を図る。めあて、見通し、振り返りの重視。
- 2 校内研修の充実 → 主幹・主任教諭を講師とした20分の研修会、校外研修の報告、ICT、教育相談、危機管理、学級経営、指導力向上
- 3 幼保小中連携の推進 → 近隣校園との相互理解及び連携

健やかな心と体の育成

【心の教育の推進】

- 1 基本的な生活習慣の確立 「早宮の子のやくそく」の徹底
○ 挨拶と返事 ○ 時間厳守 ○ 他者意識をもち、主体的に行動できる
- 2 自己肯定感を高める取組、キャリア教育の推進。「認め合い、支え合い、励まし合う」
○ 人権・多様性の尊重、学級経営の充実 → 教育相談「心のふれあい週間」、各種調査の活用、SOS の出し方に関する教育、いじめ・不登校対策、道徳教育の充実、体罰・不適切な指導の禁止。
○ 特別支援教育の充実と、安全・安心な学校づくりの推進 → 教室環境のユニバーサルデザイン化、教職員・関係機関との連携、安全管理・安全教育(防災・防犯・交通安全)。
○ 生き方を考える力の育成 → 振り返りと次のめあてを立てる、キャリア・パスポートの作成、児童集会の活用等。

【体験活動の充実】 主体的・協働的な学びを通し、課題解決力・コミュニケーション力を育成

- 1 特別活動の充実 → たてわり班、計画ロング集会、クラブ・委員会等、児童が主体的に取り組める活動を工夫。
- 2 豊かな心を育む体験活動の実施 → ゲストティーチャーを招いての授業や地域での学びの充実、国際感覚の醸成。

【体力向上と健康の保持増進】

- 1 新体力テストの分析、児童の実態に応じた指導の工夫・改善 → 運動量の確保による体力向上。体育学習・体育朝会の充実・外遊びの奨励等、担任や看護当番による意図的な工夫や働きかけ。
- 2 健康の保持増進のため、学校保健委員会の活用、食育の工夫、アレルギー対応の徹底。

【保護者・地域との連携】

保護者の会・保護者との連携、学校支援コーディネーターの活用、「地域未来塾」の効果的な実施、Sigfy の活用、ヤングケアラーへの支援・関係機関との連携。